

ザ・淀川

THE YODOGAWA

1981年6月1日 第2号

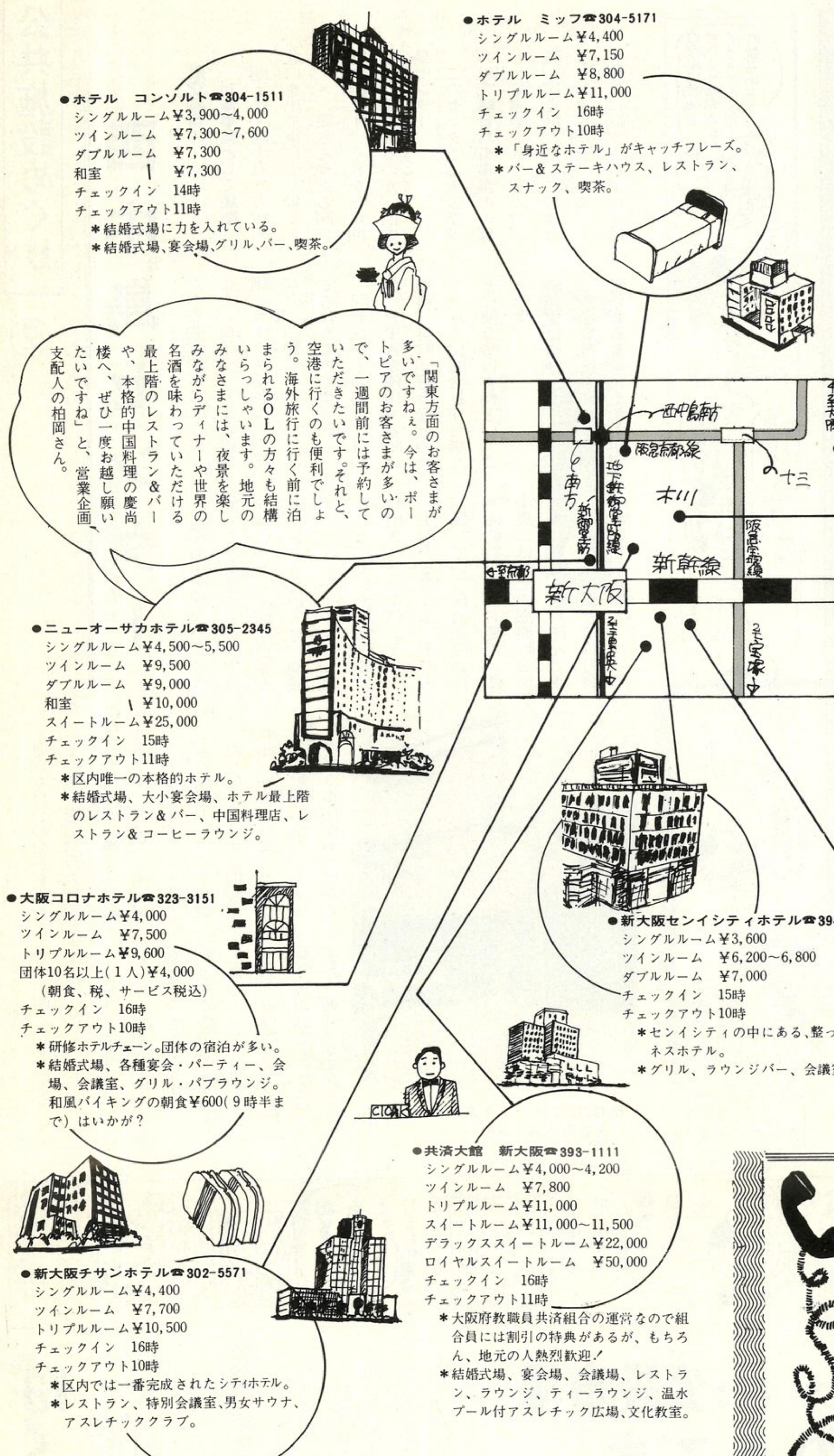
毎月1回1日発行

定価 100円
年間購読 1,500円(税込)
編集人 南野佳代子
発行所 コミュニティ企画
郵便振替口座 大阪67367 コミュニティ企画
コミュニティ企画
大阪市淀川区西三国1-2-35-212
☎391-7214

和菓子・洋菓子 えびすや		光専寺・ひかり保育園 末弘秀康	世界の服地とプレタポルテ ブラウス・セーター スズヤ	
	和室ビジネスホテル みよ志		ヨーロッパ直輸入 シューズ&バッグ ユリヤ	高崎流居酒屋 道場
		総合レジャービル サンボードシティ		酒まんじゅう五代目家元 喜八州總本舗
淨円寺・ひかり幼稚園 平林繁		活ふぐ・活魚料理専門店 ふぐー	ブティック クレヴェール	
エステティック ファンシーサロン 本丸	運命鑑定所 正明閣			◆投稿や情報提供をお願いします。
市会議員 北野頼三		オリジナル子供・婦人服 はなまい	東淀川保育園 橋本長子	味の店 風月・風輪

◆ザ・淀川は自由なコミュニケーションのひろばで。

◆広告もよろしく！



*近所のホテル
上手に利用しよう

新大阪駅をかかえる淀川区には、たくさんのお客さんで賑わっています。でも、淀川区にある以上、地元の私たちが上手に利用しないことはない。

一日中、誰にも邪魔されずに過ごしてみたい時、田舎から親類が来阪したが、狭い我が家には泊め難い。そこで、ご�回りは、ゴージャスなデイドを参考に、これらのホテルをウチの別室にするプランを立てませんか?

● ビジネスホテル福助 302-8871
1名様 ¥3,800
チェックイン 17時
チェックアウト 11時
* 新大阪とは一味違った「ふだん着の町」のホテル。
* 炉端焼、鉄板焼、スナック等が1階に。

● 和室ビジネスホテルみよ志 302-2318
1名様 ¥3,800
チェックイン 16時
チェックアウト 10時
* 5月17日新装オープン。
今は、ほんとにピッカピカ。
* 木の香が漂い、畳の青さが目にあざやかです。

● ホテル リゾーテル 391-2801
シングルルーム ¥3,900
ツインルーム ¥6,600
ダブルルーム ¥6,600
チェックイン 16時
チェックアウト 11時
* 法人単位の利用客が多い。
* モーニング定食 ¥700(9時まで)。
地元のみなさまもどうぞ。

ちよと便利な
電話メモ
スポンサーの広告がウンヌン、カンヌンと先に入る場合もありますが、本を開いたり、人に聞いたりするのがメンドウな人や忙しい人には、ピッタリの電話情報。あなたも一度、このダイヤルをまわしてみては?

- * 今晚のオカズ何にしよう? 341-3531
943-0200
- * 今日の運勢やいかに? 945-0018
- * 冠婚葬祭、ややこしいな 945-0014
- * 英会話のお勉強でも 345-2771
- * 大阪の歴史を知りたいな 945-0019
- * ちょっと素敵なお話を 945-0013
- * 育児のお話いろいろ 344-2871
- * 体のことが心配で 344-2871
- * リカちゃん人形のお話しよう 768-7711
- * 世界の音楽を聴いてみるか 310-1241
945-0017
- * 宝くじ当たったかな? 945-1192
- * 路上で車が故障した! 538-2541
- * 車内に忘れ物! (国鉄) 341-8808
(新幹線) 302-7335
(タクシー各社) 933-5618
(地下鉄) 633-9151
(阪急) 377-5226
- * 約り情報 (串本方面) 07356-2-3300
(久美浜方面) 07728-3-1199
(播磨方面) 0792-81-3914
- * スポーツ情報(スポーツニッポン) 310-2750
(デイリースポーツ) 448-5401
(日刊スポーツ) 862-1414
- * 英語経済ニュース(国際電信電話) 943-7551
(毎日新聞) 345-1551
(日本経済新聞) 942-1301

私たちのお店
ブティック
クリエール
吉田啓子
財部貴恵
赞助会員一口メッセージ

ともに生きるこの町で
心のふれ合い広げよう
ザ・淀川発行賛助会員(店)

安心して泊まれるビジネスホテル
■ 鉄塚本駅前 福助

新築オープン!
和室ビジネスホテル
みよ志

木川公園前(木川西四丁目一~十六)
302-12318
経営者 三好 彦太郎

焼きたてのパン
作りたてのケーキ
インストアベーカリー
マティース
国鉄塚本駅前商店街
301-5819

ひかり保育園回顧①

33回——といっても、法事の話ではない。昭和24年に創立して、今年の入園が33回目。当保育園も、会社やお店でいえば中堅というところである。

この間、2千百人が、元禄時代の古い門をくぐり、園庭で遊んだ想い出を持つ。週2回の合同礼拝に参加して、難かしくもありがたい法話を拝聴し、お参りの歌をうたったことを想い出すはずである。

今や、中堅さんの子供たちが園児の世代であり、かつての園児の何人かが、ここに先生をしている。それを思うと、当方ももうろく度も上がって当たり前というところか——。末弘秀康

SOUTIQUE
AM 10:00~PM 7:00
毎週木曜日定休
料金サービス ¥2,000円
5%引き
(06)396-0165
Kab
RENTAL BOX
サービス券
1,000円以上
お買い上げの方に
バンチ
進呈!
雨が降ったパンスト
雨が降ったパンスト
地下鉄東三国南出口東へ1分
国鉄東淀川西へ5分

十三アカデミー英会話

外人または日本人によるレッスン……まったくの基礎からブラッシュアップまで指導いたします。

- * 英会話(個人レッスン・グループ・出張教授)
- * 通訳派遣・翻訳業務。
- * フランス語・ドイツ語・中国語も教えます。

十三駅から5分。303-3538

ユニークなお店

十二アカデミーは、もちろん英会話の指導が本業。徹底した個人レッスンと安い授業料で評判も上々。でも、もっと注目してもらいたいことがあります。そのひとつが、洋書の古本屋。純文学からSF、推理、ベスト・セラーまで揃えた、洋書の数約一万冊。普通の本屋の半分近くの値段で買えます。もうひとつが、海外旅行のチケットの販売。たとえばロスアンゼルス往復切符が十七万四千円、びっくりするほど安い値段で手に入る。今のところ、利用者は外国人が多いが、長期の海外旅行を計画している人には、おススメ。洋書屋もチケット販売も、十二アカデミーの二階。カナダ青年のレイさんが社長だから、顔を出すだけで、英会話が上達するかも!?

そのひとつが、洋書の古本屋。純文学からSF、推理、ベスト・セラーまで揃えた、洋書の数約一万冊。普通の本屋の半分近くの値段で買えます。もうひとつが、海外旅行のチケットの販売。たとえばロスアンゼルス往復切符が十七万四千円、びっくりするほど安い値段で手に入る。今のところ、利用者は外国人が多いが、長期の海外旅行を計画している人には、おススメ。洋書屋もチケット販売も、十二アカデミーの二階。カナダ青年のレイさんが社長だから、顔を出すだけで、英会話が上達するかも!?

そう、私たちは常に、洋服に「遊び」の心を取り入れ、お客様のファンションのお手伝いをさせていただきます。そのため、それを通じて心のふれ合いも深めて行きたいなと願っています。地下鉄東三国南へ一分。遠方のあなたもぜひ一度、ご来店を。



やが里やがさと十三度じゅうさんど

(2)

十三地名考

文・三善貞司(郷土史家)
切り絵・塩入みや子

十三(じゅうそう)とは変わつた名ですね。私たちが自分の住んでいる町の歴史などに関心をもつた場合、その手がかりは二つあります。一つは寺や神社の縁起や路傍の石碑地蔵など、もう一つは地名です。なぜそんな地名になつたのか、まず不思議に思つてください。

十三島に十三条、
十三塚に十三渡し

十三についていろいろの説がありますが、次の四つが有力です。

(1)中津川の改修で今は新淀川の川底になりましたが、この辺りは大阪湾に近いため、潮の干満でみえかくれする干潟や小島が幾つかあり、それを総称して十三島といつた。

(2)大阪は大別すると東成郡と西成郡に分かれましたが、西成郡の起點は飛田(今の阿倍野)で、そこを一条とし、古代の条理制(大化の革新のときにできた区画法)。六町ごとに里と呼んで数えていき、南北又は東西に三十六里をつらねて条の単位をつける)で数えて十三番目にあたるから、十三となつた。その証拠に、もう少し北へいくと十八条の地名が現存する。

(3)戦国時代の武将は妻子をつれて戦場にいくのが常でしたが、戦争に負けると家族揃つて自害した。それを哀れんだ土地の人たちが武将を中心にして墓石を回りに建てて供養することが多かつたが、これを俗に十三塚といいます。このあたりは南北朝や戦国時代にはよく戦場になつたため、十三塚があつたのだろう。

(4)淀川には多くの渡しがあり、十三の渡しは知られていますが、摂津国に入つて上流から数えて十三番目の渡しであつたからだ。この中で(2)の説は有名な歴史学者天坊幸彦氏の論なので、こう説明する人も多いのですが、私は(4)だと思つています。十八条はひよ

十三の焼きもち
今、昔

十三の渡しは十三大橋(明治四十二年完成)ができるまで、対岸を結ぶ重要な交通機関でした。「西成郡史」に

十三の渡、西国街道筋に当り、西国諸侯の東する者多くは陸路ここへとり、はたご(旅館のこと)二十余軒あり。

と出でおり、西国から京や江戸へ旅した人は、まず十三の渡しを渡り、京街道を歩くか、大溝へ出て三石舟で京へいったとみられます。さてこの通行客と十三の野遊びを楽しむ人たちに、甘いものを売つてもうけようという知恵者が現れました。今里(現在の元今里)の住人久兵衛で、享保十二年(一七二七)十三渡し北詰で「十三あん焼き」「十三焼きもち」の二種



現在の当主、今元フクさんで13代目。昭和8年から働いている渡部ヤスさん(72歳)と、長田真司さん(37歳)が、今日も朝早くから焼きもちを作っています。「前に車を止められんようになってからこっちはサッパリですが、十三駅前店は、お陰さまで毎日売り切れです」と、ヤスさん。

私の手許に明治七年頃十三度を経営した橋本与三郎という人の届書きの写しがあります。それをみると川副は百五十メートル、運賃は人間一人一厘、牛馬一頭五厘、それで一日売上平均一円八銭と出ています。十厘で一銭ですかわります。